)部門))

青年層固有の問題の解決に向けて



union@kokuze

tokyo. org 発行人





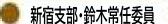
国税東京青年部は、去る10月24日に本部常任委員による局総

求しました。総務課長の回答は裏面に記載されておりますのでご ざいましたら、アンケートへの回答、本部へのお電話などでいつでもお ともに、対象者からの声を踏まえた改定を行なうこと」を新たに 今回の交渉では、「東京ネクサスについての評価を明らかにすると みなさんの身の回りでお困りのこと、疑問に思っていることなど1.

これからも、みなさんの身近な問題を抽出し、「声」として当局へ

引き続き、活動を展開していきますので、皆さんご協力お願いし

青年組合員の建の声 信念できました!





住居手当が少ない… 更なる増額を!

武蔵府中支部・江成常任委員



・専科52,53期が専科研修に ・専念できる環境を作ってほしい!

■ 山梨支部·渡邊副部長



人事評価制度の重要性を 伝えるための研修を!

館山支部・三樹常任委員



官用スマホを常に 使えるよう配備と調整を!

神田支部·星野常任委員



中等科の試験方法の改善を! 解答のPDF化は手間がかかる

武蔵府中支部·寒河江常任委員



内部未経験… センター化が不安!

~東京ネクサスの評価と反省について~

東京ネクサスは、若手職員同士のグループ討議を通じて、コミュニケーションの活性化を図り、一体感のある職場環境を醸成することを目的として、令和4年8月から取組を実施しているところである。

メンター・メンティを含めた職員へのアンケート結果を踏まえた東京 ネクサスの取組評価について、取組としては有意義であるものの、コロナ禍の収束とともに、若手同士のコミュニケーションをとりやすい環境 ができつつあることや、東京ネクサスを負担と感じているメンター・メンティの意見もあることなど、署の規模や指導対象者の状況等に応じてその必要性に濃淡が生じているものと分析している。

以上のことから、令和6事務年度から、東京ネクサスの取組は継続しつつ、全署一律実施ではなく、各署の規模や指導対象者の状況等の実情を踏まえ、各署における指導育成の取組メニューの一つとして、各署の任意で実施できる施策へ移行したところである。

今後とも経験の浅い職員に対する指導育成プログラムの充実が図られるよう、局署一体となって取り組んでまいりたい。



実は・・・

国税東京

SNS

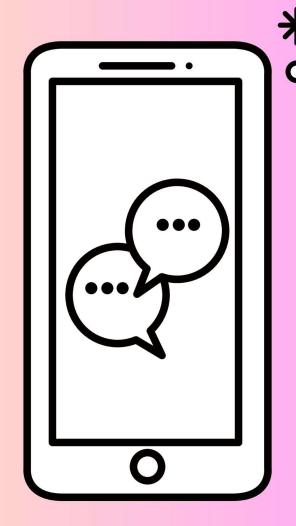
始めてます



LINE



Instagram



お得な情報をGETできるかも? 今すぐ友達になろう!